

念じております。

さて、下段のご案内のように今年も定期総会を開催いたします。

この機会に是非、母校をお訪ね頂き楽しいひと時をお過ごし下さい。学部の後輩に接することにより、今後の皆様の心の支えに成ることを

二十五日に卒後式を挙行し多くの卒業生を社会に送り出し、また四月二日に入学式を挙行いたしました。

今年は卒業式も入学式も両日共に好天気に恵まれました。

経済学部では約一千名の新入生を迎えることとなりました。現在、学内の授業やイベントなども順調に進んでおり、新入生もキャンパスの施設や環境にも慣れてきているようです。すでにツツジも満開で連休も終えてしまいましたが多摩キャンパスは新緑が日増しに色濃くなっていますおり、学生達は新しい年度を迎えており、学業に励んでおります。

本学では昨年と同様に去る三月二十五日に卒後式を挙行し多くの卒業生を社会に送り出し、また四月二日に入学式を挙行いたしました。

今年は卒業式も入学式も両日共に好天気に恵まれました。

新入生と共に多摩キャンパスは、新緑の季節を迎えております。



← 桜広場の白門前にて
⇒ Cスクエアの近くの桜



モノレール駅近くでの記念撮影



テミス像周辺



ペデ上のツツジ

第24回 白門経友会 定期総会のご案内

- | | |
|--|---|
| 1. 日 時 6月7日(土)午後2時開会
(6月第1土曜日が定例となっております。) | 4. 記念講演 14:40 - 16:10
講 師 緒方俊雄 教授
演 題 アジアの経済回廊とグリーン経済
※会場は定期総会と同じです。 |
| 2. 会 場 中央大学多摩キャンパス
7号館 7103教室 | 5. 懇親会 16:30 - 18:30
会 場 生協2階 ふらっと
会 費 OB(卒業5年以上) 10,000円
OB(卒業5年未満) 3,000円
現役学生 1,000円 |
| 3. 定期総会 14:00 - 14:30
① 2013年度活動報告
② 2014年度活動計画・予算案
③ その他 | |

役員の方は当日13:00より幹事会を開催しますので同時刻までに会場にご参集下さい。

(懇親会費は、当日受付にて集金させて頂きますのでよろしくお願ひいたします。)

第一号議案 一〇一三年度活動報告

④ 二〇一三年 九月二十七日(金)
 ⑤ 二〇一三年 十月二十五日(金)
 ⑥ 二〇一三年 十一月二十八日(木)

第五十一号 二〇一三年五月十日発行
 定期総会の案内、議事内容案の詳細
 第五十二号 二〇一三年十一月一日発行

「キャリアデザイン等」への協力
 友会として協力支援する。

I 会議
 一二〇一三年度定期総会
 日時 二〇一三年(平成二十五年)
 六月一日(土)十四時
 場所 中央大学多摩キャンパス
 七号館 七一〇四号室

以上九回開きました。

⑦ 二〇一四年 一月二十三日(木)
 ⑧ 二〇一四年 三月六日(木)
 ⑨ 二〇一四年 三月二十五日(火)

④ 二〇一三年 九月二十七日(金)
 ⑤ 二〇一三年 十月二十五日(金)
 ⑥ 二〇一三年 十一月二十八日(木)

第五十三号 二〇一四年三月十日発行
 新学部長挨拶、ゼミ活動の紹介
 経済学部ゼミナール連合会、キャリアガイダンス学生運営委員会、各ゼミ学生との交流を広げるために常任幹事会、諸行事への呼びかけ

II 行事**一 学部授業**

「キャリアデザイン」への協力

当年度も鳥居伸好教授のもと二〇一三年四月十六日から七月二十三日までの期間で全十五回のキャリアデザインの授業が行われ白門経友会から齋藤顧問、風間幹事長に加えて、外部から石田莊氏(元

以上原案通り可決されました。引き続き、片桐稔晴教授により「日本の名城」その見どころと楽しみ方」という演題で講演して頂きました。ついで会場を生協二階「ぶらつと」に移し懇親会を開催しました。

第三号議案

その他報告事項
予算案承認について

第二号議案
二〇一三年度活動計画及び

その他の報告事項
予算案承認について
二〇一三年度活動計画及び

以上原案通り可決されました。引き続

き、片桐稔晴教授により「日本の名城」その見どころと楽しみ方」という演題で講演して頂きました。ついで会場を生協二階「ぶらつと」に移し懇親会を開催しました。

二 幹事会

① 二〇一三年六月一日(土) 第二十三回総会の議案を審議、承認。

② 二〇一三年十一月二十八日常任幹事会を拡大して諸行事の承認。

三 常任幹事会

① 二〇一三年 四月二十六日(金)
 ② 二〇一三年 六月二十一日(金)
 ③ 二〇一三年 七月十六日(火)

第五十号 二〇一三年三月十日発行
 卒業祝賀パーティー、第二十三回定期総会案内等

第一号議案 一〇一四年度活動計画**I 会議**

一二〇一四年度 定期総会
日時 二〇一四年(平成二十六年)
 六月七日(土)十四時

場所 多摩キャンパス
 七号館 七一〇三教室

総会終了後、記念講演を実施する。
 演題 「アジアの経済回廊と
 グリーン経済」

II 行事

講師 緒方俊雄 教授

二 幹事会
年二回程度開催する。

三 常任幹事会
年十回程度開催する。

III 会報の発行と主要記事

「キャリアデザイン」への協力
 一 学部授業
 二 行事
 三 会報の発行と主要記事

学外および会員からの講師の推薦を経て、担当する学生委員会及び学生運営委員会等と連絡を取りつつ全面的に協力する。

三 白門経友会二十四年目を迎える会員士の親睦を計り教職員及び学生との交流を深める行事を行なう。

会報「白門経友会」を年四回発行する。

なお、今年度より紙ベースでの発行を原則として取りやめ、ホームページへの掲載に変更する。

IV その他
 一 白門経友会ホームページの内容の充実のために学生からの投稿を募る
 二 多数が参加可能な講演等の開催
 三 入会呼びかけの強化



第1号議案(2)

2013年度 決算報告書

自 2013年 4月 1日
自 2014年 3月31日

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前年度繰越金	214,696	総会費	120,000
会費収入	221,000	会報発行費用	482,889
総会費収入	105,000	交流費	15,000
寄付金収入	280,000	事務通信費	0
受取利息	16	振込手数料	6,620
		会議費	0
		雑費	32,110
		次年度繰越金	164,093
合 計	820,712	合 計	820,712

(注)次年度繰越金の内訳

(株)三井住友銀行八王子支店	普通預金	29,278
(株)ゆうちょ銀行	振替貯金	98,463
(株)ゆうちょ銀行	通常貯金	25,788
現金		10,564
合 計		164,093

以上の通りご報告申しあげます。

2014年 5月 日

会長 松丸和夫 印幹事長 風間俊範 印

監査の結果、いずれも正確かつ妥当であることを認めます。

2014年 5月 日

監事 前島一夫 印監事 森元公和 印

第2号議案(2)

2014年度 予算案

自 2014年 4月 1日
自 2015年 3月31日

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
前年度繰越金	164,093	総会費	120,000
会費収入 (3,000円×150人)	450,000	会報発行費用	200,000
総会費収入 (1,000円×15人) (5,000円×10人) (10,000円×12人)	185,000	HP維持費	20,000
寄付金収入(学員会補助金)	50,000	交流費	200,000
受取利息	100	振込手数料	10,000
		小 計	550,000
		次年度繰越金	299,193
合 計	849,193	合 計	849,193

え、あの先生が

シリーズ⑯

経済学部教授 阿部正浩



四月も終わり、四年生の就職活動も一段落した感がある。今年の就活は、景気が回復していることもあり、また労働力不足感が強いこともあり、かなり好調のようだ。納得できる就活をした学生が多いのだろう、早々に打ち切る学生が今年は多いようだ。

私は大学（学部）を一九九九年三月に卒業した。その頃も今年に似た状況だった。私の場合、大学院への進学が第一の希望であったので、それほど就活には身を入れてはいなかつたが、一応はした。外資系投資銀行、都市銀行や長期信用銀行（昔はメガバンクではなかった）、証券会社、製鉄会社、などなど。何の脈絡もない活動をした。今の就活本に言わせたら、やりたいことが明確になつていないと、キャリア目標がない、駄目な活動ということになるのでは

思つたが、経済系の学部を志望したのは商社マンになりたいと思つたからだ。振り返れば、特に一貫した目標など無かつた。大学生になつたらスパイに憧れた。今も暇が出来たらスパイ小説に浸つてゐる。

大学院に進学したいと思つたのも、勉強がしたいとか、研究がした

いと思ったからではなかつた。大学に入学して、もしかしたら大学の先生達は実は暇なのではないかと考えたからだ。少なくとも夏休みと春休みがそれぞれ2ヶ月はある。それだけで一年の三分の一は仕事がなさそうだ。給料もまづまずだろう。だから時間あたりの賃金は高いはずだし、研究と称して好きなことをやれば良い。そんな不純な動機で「大学の先生になるにはどうしたら良いのでしょうか？」と、私の恩師に尋ねたのだった。

その頃も、私の場合、キャリア論

ないだろうか。

そもそも、私の場合、キャリア論などで語られるしつかりとしたキャリア目標などなく、今の職業に就いたと思う。小学生の頃は外科医になりたいと思つたし、中学生の頃には設計士になりたいと思つた。高校生になると外交官になりたいと一瞬

思つたが、経済系の学部を志望したのは商社マンになりたいと思つたからだ。振り返れば、特に一貫した目標など無かつた。大学生になつたらスパイに憧れた。今も暇が出来たらスパイ小説に浸つてゐる。

大学院に進学したいと思つたのも、勉強がしたいとか、研究がした

いと思ったからではなかつた。大学に入学して、もしかしたら大学の先生達は実は暇なのではないかと考えたからだ。少なくとも夏休みと春休みがそれぞれ2ヶ月はある。それだけが一つある。学生時代に予想したような閑な時間が余りないので、夏休みも春休みもカレンダー通りに休んだことがない。人生、予想通りにはうまくいかないものかもしれない。

今の仕事に就いて残念だったこと

が一つある。学生時代に予想したようないいところが現実にならなかったことがあります。同じ時代、同じキャ

ンパスで経験を共にした者同士の横のつながりとともに、大学を結節点として様々な世代とがつながつてゆき、縦糸と横糸とで大きな織物を織つてゆく、そんな会に白門経友会がなつていけばと願つております。

創立五十周年記念公開シンポジウム

「日本経済の再生と新たな国際関係」
を左記により開催いたしますので是非ご参加ください。

日時 六月二十八日(土)

十二時五十分～十七時三十分

場所 中央大学駿河台記念館

なお、事前申し込みが必要です
で、詳細を含めて経済研究所のサイト
にアクセスしてご確認下さいます

既に確固たるキャリアの目標があ

編集後記

英語では「同窓会」を alumni association と言います。alumni は「養い子たち」というラテン語で、個人とそれを育てた組織（国家など）との関係を示すレトリックとしても用いられていました。かたや日本語の「同窓」は、「螢雪」（「螢の光、窓の雪」の故事）つまり苦学を同じくしたという仲間同士の横のつながりを強調するものとなっています。

語源が示す二つの側面は、同窓会のあり方を考える上で重要な点を示唆しています。同じ時代、同じキャ

ンパスで経験を共にした者同士の横のつながりとともに、大学を結節点として様々な世代とがつながつてゆき、縦糸と横糸とで大きな織物を織つてゆく、そんな会に白門経友会がなつていけばと願つております。

(文責：常任幹事 濱岡 剛)